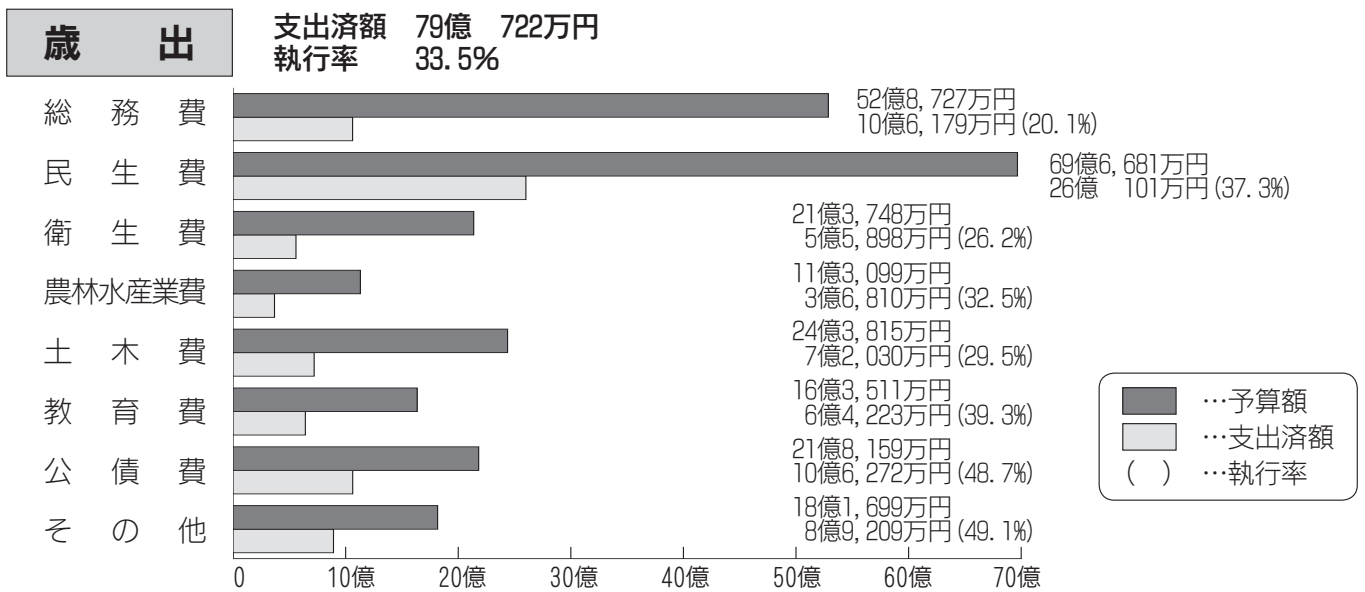
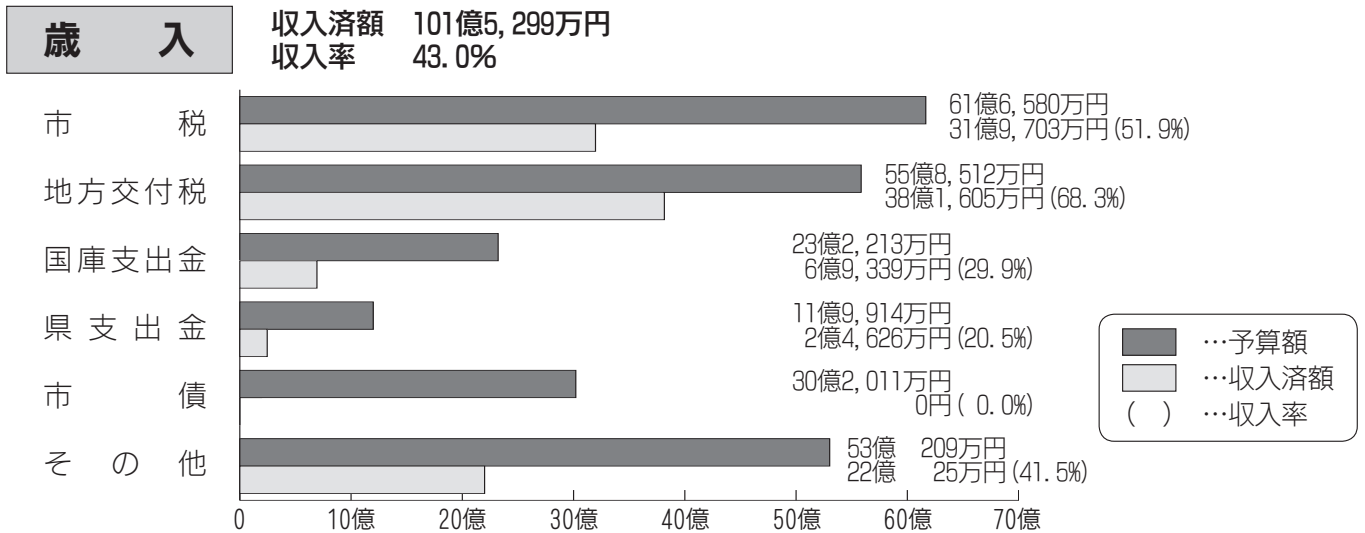


財政状況

市では毎年2回、財政状況をお知らせしています。
 今回は、平成28年9月30日までの財政状況で、市民の皆さんに納めていただいた税金などの歳入状況と、これにより実施したさまざまな事業の歳出状況をお知らせします。

☎ 財政課財政係 ☎ (22) 2111 (内線221)

一般会計 予算額 235億9,439万円



特別・企業会計予算の執行状況

会 計 名	予 算 額	収 入 済 額	収 入 率	支 出 済 額	執 行 率
国民健康保険事業	62億 341万円	22億5,256万円	36.3%	25億1,902万円	40.6%
後期高齢者医療事業	4億6,226万円	1億3,871万円	30.0%	1億5,507万円	33.5%
介護保険事業	44億6,663万円	17億2,492万円	38.6%	16億6,820万円	37.3%
倭財産区事業	178万円	135万円	75.5%	19万円	10.6%
永田財産区事業	49万円	17万円	34.8%	2万円	4.7%
中野財産区事業	221万円	82万円	37.1%	22万円	10.1%
水 道 事 業		4億7,643万円		6億1,874万円	

市の財産	土 地	660万4,898㎡
	建 物	21万2,295㎡
	基 金	108億4,078万円
市の借金	市 債	411億1,657万円
	一時借入金	0円
債務負担 (将来にわたる債務の負担)		54億7,959万円

公共施設の 現状を考える

～中野市を次世代へつなぐために～

公共施設縮減目標 △20% を目指して



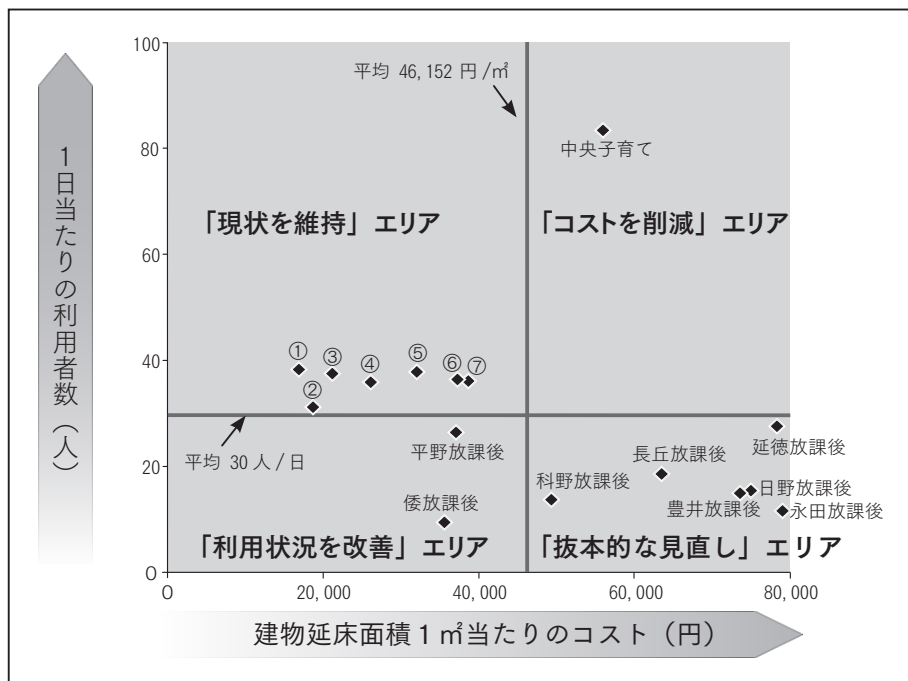
公共施設とは

国や地方自治体が建設する施設。中野市公共施設白書では、公民館や図書館など市が保有する建物や、公園など広く市民が利用する施設を対象としています。

問い合わせ先 政策情報課行政管理係
☎(22)2111 (内線401)

施設の現状について、「ポートフォリオ分析」を用いてお知らせします。今回の分析の対象となる施設は、保育所を除いた子育て支援施設です。

▼子育て支援施設（保育所を除く）のポートフォリオ分析



ポートフォリオ分析

対象となる項目に共通する2つの指標の組み合わせにより、その要素が平面上のどのエリアに配置しているか分析し、重要性の高い項目を抽出する方法

※本分析のエリア分けには、対象施設（類型施設）の平均値を活用する。（施設の分類は、中野市公共施設白書に基づく）

①高丘放課後 ②平野児童 ③豊田子育て ④中野児童 ⑤中野放課後 ⑥北部子育て ⑦平岡放課後

上記分析の用字（略称）は下記のとおりです。

子育て：「子育て支援センター」の略。0歳から就学前の乳幼児とその保護者が親子で遊ぶ場所。

児童：「児童センター」の略。3歳以上の幼児から児童が遊びにより健康増進や情操教育を行う場所。

放課後：「放課後児童クラブ」の略。下校時に保護者が不在となる家庭の児童の遊びおよび生活の場所。

「抜本的な見直し」エリア、「利用状況を改善」エリア

放課後児童クラブは、地域の児童数の減少により、利用者が伸び悩んでいます。また、規模の大小に関わらず、放課後児童指導員に係る一定の人件費が発生します。そのため延床面積1㎡当たりのコストは施設規模の影響を受けます。

今後、小学校の統廃合と併せて、放課後児童クラブ設置場所の見直しを行います。また、新たに施設を設置する場合には、小学校の余剰教室の活用など既存施設を活用した複合化や、用途廃止した市有の建物などの利用を原則として整備を進めます。

「コストを削減」エリア

中央子育て支援センターは、市街地に位置しているため、他施設と比べて土地賃借料が高くなっています。そのため、延床面積1㎡当たりのコストが平均値を上回っています。

今後、地域の児童数を考慮しながら、運営方針などを検討します。